

第1回

『バスが来ましたよ』

由美村嬉々 文 松本春野 絵(アリス館 2022年)



出会い… この絵本はたった10行たらずのオンライン新聞記事を読んで、私が衝撃を受けたことから生まれました。それは、「網膜色素変性症」という難病におかされて、目が見えなくなってしまった男性が、地元の小学生に10年以上もサポートされ、ついに定年を迎えるまで働き続けることができたという記事でした。私は、この話を何としても絵本にして、多くの人に知ってもらいたい一心で、自分の目で確かめるべく、舞台である和歌山に行き、その男性と小学生に会いました。その男性と同じ道を歩き、バスに乗り、小学生に取材をするうち、やはり、一人でも多くの人に、絵本を通して「利他の心」「思いやりの気持ち」を伝えたいという思いが強くなっていきました。

出版元の編集担当、山口郁子さん、画家の松本春野さんのご協力を得て、形にすることができたことに、心から感謝しています。私にとっては実に幸運な絵本デビュー作となりました。

アリス館 山口郁子さんの推薦の言葉

この話を由美村さんからお聞きしたのは、2年前の春のこと。小学生たちと男性とのエピソードを聞きながら、「そうだ、気持ちは人から人へリレーされていくのだ。子どもたちは無意識にそれをわかっているんだ」と実感し、涙がこぼれそうになりました。

由美村さんは、この絵本の文を、あえて子どもではなく、その男性の視点で書きたいとおっしゃいました。

そして、目の見えない彼の不安や喜び、心の変化をさまざまな年齢の読者に実感してもらうために、一言一句、推敲を重ねました。

画家の松本さんは、ページ全体の色やアングル、人物の表情など、絵で表現できる可能性を追求してくださいました。出来上がった絵本は、多くの人たちの手に届き、数えきれないほどのお手紙が届いています。ぜひ、言葉や絵のひとつひとつを楽しみながら読んでいただけたらと思います。



あらすじ

全盲になった男性が、小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。小さなひとこと、小さな手。でも、それは多くの人の心を突き動かした。小さな親切のリレーの物語。

3名様 PRESENT

簡単な感想を書いて事務局にお送りください。



詳しくは30ページ



木村美幸
プロフィール
(一社)チャイルドロ
アクリエイト® 代表
理事。作家(ペンネー
ム・由美村嬉々)、編集
者、絵本カタリスト®、
絵本学会会員、JPIC読書アドバイザー。老舗の児童
図書・保育図書版元の元取締役。著書に『バス
が来ましたよ』『にじいろのペンダント』(絵
本)、『これだけは読んでおきたい すてきな絵
本100』『発達段階×絵本』(評論)ほか。

VOL.1 美幸先生とたのしむ

ミラクル 絵本ツアー

(未来が来る)

miracle picture book tour

ミラクル絵本ツアー・絵本ガイドブックについて

私は、40年近く、絵本制作の世界に携わってきました。いまは、絵本のメッセージを全国津々浦々に届ける絵本カタリスト®、読書アドバイザー、そして絵本作家として活動しています。毎回、当コーナーにて、絵本の世界を通して大切なメッセージを発信していきますので、よろしくお付き合いください。

さて、まず、どんな絵本を読めばよいのか迷ったときは、ミラクルな絵本ガイド『これだけは読んでおきたい すてきな絵本100』(風鳴舎2022)を是非お手元に!! もっと本格的に自分にふさわしい絵本選びをする際には、『成長の特徴とおすすめ絵本がわかる 発達段階×絵本』(風鳴舎2023)をお読みください。



絵本とは何か

絵本は、「絵」と「文(ことば)」から成り、その二つの要素が互いに補完し合っ
て成り立っています。ページをめくっていくことで、ドラマが展開していき、読
者は、絵本の世界で大切な経験をします。絵本を通して、読者は多くを学び、体験の幅を広げて成長していくのです。大人も子どもも、障がい者も…です。絵本には無限の可能性が秘められています。

絵本を読むということは、文章と絵を書(描)いた作者の心情や感動、想像の世界を読み解いていくことです。「想像」とは、その場にはないもののイメージを思い浮かべること。絵本を見ながらページをめくり、たくさんの「想像」をして、物語の展開についていきましょう。きっと絵本がミラクルな世界に誘ってくれることでしょう…。

今回は、「読み聞かせ」についてお話しします。

おすすめ絵本たち



(右)『チリとチリリ』
どいかや 作 2003年
(左)『でんしゃにのって』
とよたかずひこ 作 1997年



電車に乗るうららちゃんという女の子を、あなたかく見守ってくれています。『チリとチリリ』は、自転車でのいろいろなところへ出かけるお話ですが、色鉛筆で繊細かつ色彩豊かに描かれた絵は、幸せにあふれています。編集という仕事は、自身が実際に見聞きして感動したことや、作家さんが伝えたい、表現したいと思っている世界を、紙に載せて運ぶ仕事です。アリス館の本を読んで、「世界は楽しく、美しい」ということを感じていただけたら、本当にうれしいです。これからも、いろいろな感動を運ぶことのできる本を、出版し続けていきたいと考えています。

「感動を紙に載せて運ぶ」
アリス館編集長 山口郁子さん

アリス館という出版社は、『でんしゃにのって』や『チリとチリリ』シリーズなど、子どもの本、主に絵本を出版し続けて40年以上になります。本を編集するうえで大切にしていることのひとつは、読者に本物を届けることです。

本を届ける立場である、わたしたち出版社の者は、一冊の本を作ることにいつも緊張感があります。作家さんはその本にご自身の世界観を表現し、生き方をかけておられると思っていますし、受け取る読者である子どもたちは、きちんと本物を見分ける目を持っています。それだけに、大人が信念を持って本気で作ったものは、子どもたちの心に響き、きちんと受け取ってもらえることができる、と確信しています。

文は、黙読しても音読しても心地よいか、説明的になっていないか、長すぎないか、短かすぎないか。ページをめくりたくなるように、次へとつながるようになっているか。絵は、文をそのまま描いただけになっていないか、メリハリはあるか。何度も見たくなる魅力があるか。等々、妥協なく推敲を重ねます。

もうひとつは、感動を伝えることです。『でんしゃにのって』は、動物たちが

クラゲファンタジーホール

ゆらゆらと漂うクラゲの世界にうっとり。

昭和天皇は相模湾周辺でクラゲの研究をされてきました。まだクラゲ鑑賞が一般的でない頃、立地のご縁からえのすいでクラゲの魅力の人々に紹介したいと展示の挑戦が始まったのです。

40種類以上のクラゲが見られる!



イルカショー

間近で見るジャンプは大迫力!!

手拍子に合わせてイルカ達がかわいく鳴く姿には思わず笑みがこぼれます。イルカと飼育員のお兄さん、お姉さん達の深い絆には感動さえ覚えます。



シラスサイエンス

世界でここだけ!

えのすい生まれのシラスたちのふ化〜成長への過程が見られます。シラスは環境の変化にとても弱く飼育が難しいのですが、えのすいでは10世代にも渡って命を繋いでいます。



漁港を再現した水槽も。



浜辺のごみ拾いなどエコ活動にも取り組むえのすい。「海に起こっている環境の変化もお客様に伝えていきたい」と話す広報スタッフの山崎さん

新江ノ島水族館
〒251-0035
神奈川県藤沢市片瀬海岸
2丁目19番1号
<https://www.enosui.com/>
障がい者手帳をご提示で、ご本人様と同伴者1名様は一般料金の半額



PRESENT

M〜O 各1名様
P 3名様

- M ピクチャパズル
- N オリジナルエコバッグ
- O ウォーターキーホルダー
- P ペアご招待券(3組)

詳しくは30ページ

弁天橋を渡って江の島へ!

海に囲まれ、神社や展望灯台のほか、洞窟探検ができる岩屋などマル秘スポットもたくさんある江の島。高台から見渡す眺めは絶景です。



中津宮広場展望デッキに出るとヨットハーバーや七里ヶ浜方面まで一望できる。開放的な景色に感動!



江島神社は日本三大弁財天のひとつ。辺津宮・中津宮・奥津宮の3社から成り、芸能・金運・勝負運など様々なご利益にあずかれる。



高台から、階段の多い江の島も屋外エスカレーター「江の島エスカ」に乗れば疲れ知らず。(※有料)



島の入口から続く商店街・江の島弁財天仲見世通り。名物のたこせんべいをゲットすれば楽しさも倍増(?)!

おさんぽ DE 楽しむ!

～多様な生き物たちが暮らす豊かな海・相模湾を臨む新江ノ島水族館と江の島を散策～

施設探訪

社会福祉法人グリーン

神奈川県横浜市青葉区鴨志田町335-1
TEL:045-961-0305 <https://green1993.or.jp/>



施設長 開地久美子さん

2008年当社へ入社。以前も福祉の仕事に従事。結婚を機に現場を一度離れるが子育てが落ち着いた後に再び働きたいという思いからグリーンにて仕事を再開し計画相談事業を担当。2018年から施設長となる。

利用者さんの可能性を引き出すことを目指し、横浜の地で農業を通じた地域共生を。

利用者さんの気持ちの代弁者でありたい

農作業、農作物の加工販売などを行っている社会福祉法人グリーン(以下、グリーン)。生活介護事業所として利用者

の方々の生活と働くことをサポートしています。現在は19〜60歳までの56名が利用しています。地域作業所として開設した1993年以来、農作業を中心に活動してきました。今や畑は8000平米、田んぼは1700平米を誇り四季



自然を相手にする農作業で日々身体を動かすグリーンの利用者の方々はとっても元気。オレンジのコンテナに入っているたい肥を運ぶ利用者の方々の顔に汗が光ります。



週に1度体操をして身体をほぐします。体を整えることはもちろん、リラックス効果で心の健康にも繋がります。

折々の農作物とともに過ごしています。来年には30周年を迎え、最初に入られた方は48歳になりました。「利用者により、ともにいきる」を掲げ、働くことで社会に必要とされる喜びや、暮らしの中での安らぎを感じられるよう寄り添い、ともに生きていくことを理念としています。施設長の開地さんは「施設で働く中で、ご家庭にいる時とはまた違った才能を発揮される方もいます。利用者さんがやりたいと思っていることを実現できるように保護者の方を含めて働きかけることを大切にしています」と語ります。

ワークショップを行い、障がいのある方と健常者が同じ時間をシェアできる機会を作る

管理者の長谷川さんは利用者の方々と共に近くで接してきた職員の一人です。グリーンでは活動を通じて利用者の方々が社会と関わりを持つことを大切にしています。商店街や地域の子どもたちに利用者の方々の存在を知ってもらえるよう、様々な取り組みも行ってきました。その一つには、近隣で青空保育を行っている保育園の子どもたちと一緒に畑に入るというものがあります。単に話を聞いて、障がいを知るということではなく、実際に同じ時間を共有する中で、障がいのある方がいるということを知っていくことができます。ともに時間を過ごす中で感じたものは子どもたちはもちろん、その保護者の方にも広がっていきます。このように社会と密に接していくと、利用者の方と地域の方と

商品を手にとり取ってもらうことで、広がるご縁から、地域の方と繋がっていく

の信頼関係もより深まります。地域の方の中には、ある利用者の方を気にかけるようになり、その方に「会いに来る」方もいると言います。「利用者の方も自分に会いに来てくれることが嬉しいと感じるなど、人との繋がりは人生の豊かさにつながっていくことを私自身も学ばせてもらっています」(長谷川さん)

方々、力強く伸びる幹の部分は職員の方々の手形で描かれています。個性溢れる利用者さんと彼らを支える職員の皆さんが見事に表現されています。この絵のように、利用者の方々の笑顔が続いていくよう職員の方々は彼らの力が発揮される場を日々作っていきます。



利用者さんから学ぶことも多いと語る長谷川さん。

店舗担当の櫻井さん) 店内は利用者の方々の作品で溢れています。中でもひと際目を引くものが、利用者や職員の方々の手形で造った「木の絵」。色とりどりの葉は利用者の方々の生活と働くことをサポートしています。現在は19〜60歳までの56名が利用しています。地域作業所として開設した1993年以来、農作業を中心に活動してきました。今や畑は8000平米、田んぼは1700平米を誇り四季



とうりではグリーンの利用者の方々の作品のみならず、地域との繋がりが生まれたパンの販売などもしています。

各1名様 PRESENT

Q ランチョンマット & コースターセット
R サコッシュバッグ

詳しくは30ページ

グリーンでの活動や利用者さんの日常、グループホームでの生活を発信中!

活動について普段から目にしているように、最近ではInstagramの更新に力を入れているそう。自然で温かな様子が伝わってきます。

Instagram: <https://www.instagram.com/greentouri/>





新連載

シンママのはじめて育児は
自閉症の子でした
全ての始まりは
「ママちよつと
いいですか？」

リュウくんが2歳2カ月のとき、保育園で指摘されてから、保健師さんと面談し、発達支援センターで見てもらい、療育へと長い道のりを進んできたデザイナーでイラストレーターのまるさん。その道のりを楽しく、分かりやすく紹介しています。

まる フリーランスデザイナーの他、イラストレーターや漫画家として活躍するシングルマザー。長男のリュウくんは自閉症であり、軽度知的障がいでもある。まる著『シンママのはじめて育児は自閉症の子でした』(KADOKAWA、2022年)好評発売中。



(左)Twitter
<https://twitter.com/shishishishimr>
 (右)Instagram
<https://www.instagram.com/maru.manga/>





「発達が気になる」と指摘され、実際に相談から療育につながるまで、数ヶ月も待たされました。今年から始める個別療育に待つには、空きが出るまで半年以上も待たなければなりません。先輩ママとしてアドバイスできることがあるとすれば「診断結果が出るまで、もやもやしながら過ごすのはつらいので、不安を感じたら早めに発達支援センターで相談してみるのがいい」という点です。

私は初めての子育てで、「この時期にこれができるとおかしい」という感覚がなかったため、入園時に「何かあったらすぐに相談に行きたいので、教えてください」と伝えていました。息子の人生だからこそ、できるだけ生きやすい道を示してあげたかったです。

小さな気づきに励まされ、今できることを一生懸命にやる

実際に自閉症の子どもを育ててみると、気やすく「そのうち何とかになります」「子どもはかわいいから頑張りますよ」



先輩ママ「まるさん」からのメッセージ

不安を感じたら、早めに支援センターへ

う」などとは言えません。私も日々、息子の発達に悩み、将来の不安に押し潰されそうになって、自分を奮い立たせていきます。

でも、取りあえずやれることをやるしかありません。「あのとき、もっとやっておけばよかった」と後悔しないように、療育に通わせたり、病院に行ったりと、今できることを精一杯やっています。

その中で、「こんなことができるようになった」「こんなことを言うようになった」という気づきが、まるで差し込む光のようにまぶしく、うれしくて涙が出てしまいました。

みなさん、一緒にがんばりましょう！



初めての療育



療育が終わって



3名様 PRESENT

シンママ、はじめまして育見は自閉症の子でした」

まる著 岡田俊監修 『シンママのはじめて育見は自閉症の子でした』 (KADOKAWA, 2022年)

詳しくは30ページ

M Size
はじまり

~Again~

VOL.55

過去を思い、将来を考えて

息子と二人、 歳を重ねて思うこと

シンガーソングライター 水越けいこ

PROFILE

水越 けいこ

シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。



<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



現実と向き合い、
老後や亡き後を考える

私と息子の麗良は東京都内の比較的近い街で暮らしています。街の雰囲気も気に入っていて、息子が3歳の頃から、ずっと同じ地域で過ごしています。ここ数年、息子は就労継続支援B型事業所（こちらは隣の区、と言っても比較的近い場所にあります）に通っているのですが、息子はこの場所を随分と気に入っているようです。母親として、毎朝仕事に出かける息子を見送るとき、うれしそうにしている顔を見るのは、何よりも安心です。いつまでもこんな日々が続けばいいと思います。

しかし、現実的には、私も息子も齢を重ねていきます。いつまでも同じ環境、同じ健康状態のまま、一生を終えることは不可能です。

私の老後や、亡き後を考えると、時に恐怖にかられてしまいますが、そんなときは、麗良の親は私しか居ないのだから、自分に強く言い聞かせます。そして現実と向き合うようにしています。そのように将来を厳しく考える時間を、自ら作れるようになったのは、恥ずかしながら最近かも知れません。人間は誰しも、そんなに強くはありません。最近、他のお母さんたちと話していても、時折そのような話題になります。

ずっと住んできた街の
シーンを思い浮かべながら

あるとき、私は一人のお母さんに「うちはシングルマザーだから、息子の将来に不安が多いの」と相談すると「あら、結婚していたって、いざ親はどちらか一人になるのよ。そして子供だけになってしまふ。それは変わらないわ」条件は同じ、そう思って相談し合いました。麗良の方がお互い楽だから」と優しく答えてくれ、何か少しホッとしました。とてもありがたかったです。

老後や亡き後の話は、どんな人の話であつてもデリケートだと思うのですが、私の友人に、割と物事をストレートに聞いてくる人がいます。

先日「ねえ、あと10年経ったら息子さんは何歳で麗くんは40歳じゃない？ 親子でどう生きていくか具体的に考えているの？」と聞かれてしまいました。

私は「考えているけど、具体的にはまだ決められないこともたくさんあるわ」と答えました。友人は「恵子さんのその同じ答えを10年前から聞いている気がする。一人で考えていないで、人に頼って。とか頼れる人を選んでいく時期じゃないかしら」と言ってくれました。きっと彼女なりの、いざというときには自分を頼ってもいいのよ、というメッセージだったのだと思います。

彼女は、息子が幼い頃からの知り合いなので、よほど麗良が心配なのでしょう。その彼女にも、昔、親戚に障がいを持った方がいる、と聞きました。あまり身内について多くは語らない方なので、詳しくはわからないのですが。

ずっと住んできたこの街、特に春の風景を見ていると、長かったようなあつという間だったような。麗良との二人暮らしのシーンを、たくさん思い出します。そして、そのシーンに登場していた人々の顔も思い出します。もう逢えなくなってしまう人、いつの間にか会わなくなってしまう人、最近知り合いになった人、変わらずずっと会っている人。私たち親子の前には、たくさんの方が現れ、また通り過ぎていきました。

当たり前のようにつつ年齢を重ねて、今思うことは、人にとって人は最も尊い存在であるということ。シンプルで当たり前ですが、そんな思いを再確認する機会も多いこの頃です。

社会情勢も少しずつ落ち着いてきました。息子には、いよいよドラムスを本格的に習わせようかと考えています。私もクラシックピアノを習ってみようかと調べている最中です。趣味に時間を使えるのは当たり前じゃないのですよね。どうか世界中が平和で健康でありますように！



※就労継続支援B型とは、通常の企業に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である方に対して、就労の機会や生産活動等の機会の提供、また、その他の就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練・支援を行う事業所。

イベント内容 (時間の記載がないものは、10:00~17:00の予定です)

自閉症の天才イラストレーター 松元伸乃介の絵画展

カラーペンで着色された、愛くるしい動物がいっぱい!



松元伸乃介による 即興絵画パフォーマンス

時間 10:00~12:00 各回先着20名様
14:00~16:00

松元伸乃介さんは人が動物に見えるため、「似顔絵」が動物イラストに!



ダンスに障がいはない! SD.Sの障がい者ダンスクラス “YELL”によるダンスショー

時間 12:30~

さまざまな障がいを抱えた方によるリズムダンスを披露。



生きづらいけど生きてやる系 シンガーソングライター かざみしずか 風見穩香 ミニコンサート

時間 11:00~

不完全でもいい、幸せに生きていい、あなたはあなたでいい...そんな思いを届けます。



トラブルや保険 相談ブース

知的障がい・発達障がい・ダウン症・てんかんの方々のためのトラブルや保険についての相談ブースです。



ダンボールハウス お絵かき

ダンボールでできたお家でおまごと。ダンボールだから、クレヨンで自由に絵が描けます。



遊びの広場

ブロックを積んで、ボールプールで転がって、自由に遊べるスペースです。



障がい者の方
大歓迎

頑張っている障がい者と楽しい社会とをつなぐ「みんなの祭」

MELDIA FESTA 2023 "EARLY" SUMMER

後援：千代田区

開催日 2023 6/18 (日)

時間 10:00~17:00

場所 九段生涯学習館
2階 九段ギャラリー



九段生涯学習館
2階 九段ギャラリー
東京都千代田区
九段南1-5-10
<https://www.kudan-lf.info>



東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6番出口前
※駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣のコインパーキングをご利用ください。

●定員になり次第締切とさせていただきます。●出演者の都合により急遽イベントが中止になる場合がございます。ご了承ください。●風邪のような症状がある方は、ご来場をお控えくださいますようお願い申し上げます。●会場では咳エチケットにご協力ください。※写真・イラストはイメージです。

一般財団法人メルディアが 特別支援学校の生徒を応援!

障がいのある方々が「よりよい社会生活を送れるよう」に応援している一般財団法人メルディア。そのひとつが、特別支援学校の生徒を応援する文房具寄贈です。第1回(2023年1月26日)は新宿区立新宿養護学校、第2回(2023年2月17日)は東京都立中野特別支援学校に、それぞれPILOT社製ジュースペイント12本x20セットをプレゼントし、贈呈式が開催されました。皆さまが素晴らしい学校生活を送れますように!



お問い合わせはこちら



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

ホームページ

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報を掲載しています。Twitterでは湘南ベルマーレ観戦チケットプレゼントやスポーツ支援情報を発信しています。是非、ご覧ください。

〒163-0632

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

一般財団法人メルディア 宛て

TEL: 03-5381-3213

MAIL: org@gf-meldia.com

Twitter

https://twitter.com/gf_meldia

ホームページ

<https://meldia.org/>



一般財団法人メルディア
Meldia Foundation

MELDIA つなぐ

青少年スポーツ支援事業

奨学制度

一般財団法人メルディアでは、個々が置かれている事情、経済的な理由からプロ選手を目指すことを諦めざるを得ない児童、生徒、青少年らの「夢」の実現を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。奨学生の中でもユース時代から活躍してきた田中聡選手が、奨学生から初のプロ選手として「湘南ベルマーレ」とプロ契約を果たし、2021年からトップリーグでチームの中心選手として活躍しています。2022年からは田中聡選手に続き、原直生選手がプロ契約しトップリーグの舞台へ羽ばたいています。

障がい者支援事業 2つの障がい者支援

情報発信

障がい当事者や障がいのある子どもを育てる親や保護者を支援することを目的として、障がい福祉関連情報の発信と、障がいに関する社会的認知向上に寄与するべく広報誌「MELDIA」を発行しています。ご家庭で出来る支援や外出機会の創出、福祉サービスの情報、障がい当事者やかわる人々が「明るい未来」を創造出来るよう、情報発信を通じて支援を行ってまいります。

直接支援

「あなたの「不安」を「可能性」に変えたい。」私たちメルディアでは、「職業能力評価」や「就労訓練」を通じて一緒に悩みや問題を解決し「働くこと」への不安を払拭するためのお手伝いをしたいと考えます。できることを知り、できることを増やし、自身がやりたいことに取り組める未来を実現するための直接支援が提供できるよう、新たな直接支援サービス「メルディアトータルサポート」を開設し、安心して就労に向かうためのサポートを行っています。

たのしめてるか。
Bellmare

湘南ベルマーレ ホームゲーム観戦チケット プレゼント

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、同行者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待いたします。

本ページにて募集の「湘南ベルマーレホームゲーム観戦チケットプレゼント」についてはリーグおよび、クラブの発表情報に合わせ、以下のURLにて詳細を随時お知らせいたします。

一般財団法人メルディア HP <https://meldia.org/>

お問い合わせ先 一般財団法人メルディア 事務局
org@gf-meldia.com



ホームゲーム観戦チケット プレゼントキャンペーン

山口健大キャプテン

いつも八王子ビートルズへの
ご声援ありがとうございます。
僕達の試合やプレーを通して、沢山の
方々に夢や希望、そして元気と感動を
お届け出来るようなチームを目指し、
バスケットで八王子を盛り上げて
いきます！応援よろしく
お願いします。

新シーズン
2023年秋
開幕

<https://trains.co.jp/>

ホームページから東京八王子ビートルズの
情報をチェック！

東京八王子ビートルズ

〒192-0904 東京都八王子市子安町3-6-7サザンエイトビル1F

今シーズンも皆さまの応援ありがとうございました！



亀崎光博HC代行

いつもたくさんの方の応援
ありがとうございます。
見てくれる方に勇気や希望を
与えられるようなプレー、姿勢を
お見せ出来るようこれからも
戦っていきたく思います。
引き続き応援よろしく
お願い致します。



PRESENT

応募方法 右のQRコード※から必要事項をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



6月30日
締切

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
| A
1名
レンジ調理鍋
18cm(イエロー) | B
1名
オリジナルエコバッグ | C
1名
オールナイロン自立お玉 | D
2名
SONステッカー5枚セット | E
1名
トライゲーム
やってみようのはどっち? |
| F
1名
きいて・はなして はなして・
きいて トーキングゲーム | G
1名
貼る療育アロマ
「おだやか」と「きりり」 | H
5名
渡部 伸著「障害のある子が
安心して暮らすために」
(合同出版、2022年) | I
2名
鶴田 東洋彦・松岡 健夫共著
「コロナに勝つ経営 逆風に
立ち向かうリーダー達」
(産経新聞出版/
日本工業新聞社、2021年) | J
1名
輪島塗 漆箸 |
| K
1名
輪島塗 フォークセット | L
3名
バスが来ましたよ
(サイン入り) | M
1名
ピクチャパズル | N
1名
オリジナルエコバッグ | O
1名
ウォーターキーホルダー |
| P
3組
新江ノ島水族館
ペアご招待券 | Q
1名
ランチョンマット
& コースターセット | R
1名
サコッシュバッグ | S
3名
まる著 岡田俊監修
『シンママのはじめて育児は
自閉症の子でした』
(KADOKAWA、2022年) | T
1名
ペナルティ
ソックス
22-24cm &
マルチケース |

vol.55 MELDIA
2023 MAY

発行元 / 一般財団法人メルディア
 発行人 / 小池信三
 企画・編集・印刷 / 株式会社 ウィル・コーポレーション
 営業担当 / 矢口千絵 (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 C.ディレクター / 正木 弘 (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 アシスタント / クレシ・ミン (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 撮影 / 菅原 大祐 (D-STUDIO)、浜田泰介 (pindot studio)
 デザイン / 渥美 真里子
 ライター / 吉澤 実祐 (ワーズ)、敵川 知紗
 協力 / MELDIA GROUP、
 株式会社 三栄建築設計、
 メルディアトータルサポート上野、
 ペナルティ (プレゼント提供)
 ※敬称略/順不同

広報誌MELDIA Vol.55/
2023年5月25日発行
 本誌の無断転載・複製を禁じます。
 2017-2023 ©All Rights Reserved.
 一般財団法人メルディア/広報誌MELDIA
 MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計
 ※QRコードは(株)デンソーウェーブの
登録商標です。

無料定期購読の
お申し込みは
こちらから



次号予告
MELDIA
vol.56
2023年7月25日 発行予定

一般財団法人メルディア
 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1
 新宿センタービル32F
 一般財団法人メルディア
 TEL:03-5381-3213

暮

ら

し

に

こ

い

女 力 協 し な い



広報誌 MELDIA VOL. 55 TAKE FREE

広報誌 MELDIA VOL. 55 2023年5月25日発行 (隔月1回25日発行) 第55号 通巻55号
発行元 / 一般財団法人メルディアグループ 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F



三栄建築設計

〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F
<https://san-a.com/>



OFFICIAL SNS



メルディアの家
サイトはこちら



コーポレート
サイトはこちら

